

## 津山市 岩屋城を守る会

岩屋城を守る会会長 北 恵兆（当会会員）

津山市街から国道 181 号線を西に進むこと 20 分、津山市西端、中北上岩谷という集落があります。この集落北方独立した標高 283m の岩屋山がありその山頂に岩屋城跡があります。570 年の昔、山名氏の武将山名教清が美作の守護職を任せられ自分の本城として築いた城跡であります。昭和 43 年 3 月旧久米町が又、昭和 62 年 4 月には岡山県よりそれぞれ指定史跡となりました。

時を同じくして「岩屋城を守る会」と命名し 58 名の会員をもって発足しました。以来永い眠りから目を覚ますことの出来る古城の保護、管理、整備作業が教育委員会の指導のもと始まりました。一方用地は個人所有地でもあり了解も得ての作業でありました。城跡の草刈、登山道の整備等、その年の秋、会員はもとより地元自治会の方の協力で今まだ整備の行き届いていない地域に手をつけてゆく事となりました。以来事業計画に基づき、馬場跡にトイレの新設、倒木の処理、戦国武将に精霊祭、紫燈護摩供養、欠かせない会員の勉強会も行って参りました。商工会の主催する登山ウオーラリーは結成以来毎年催し地域全体での一層の保存活動が始まりました。平成八年岩屋城の歌、続いて岩屋城音頭を会員の作詞作曲で完成をみる事が出来ました。以来度々の会場で披露されている今日です。

平成元年より旧久米町商工会主催のウオーラリー第 1 回が開催、初日の出も毎年計画されるようになりました。整備は進み城跡も昔の姿を見ることが出来るようになり歴史ロマンを求めての登山者も増えて参り守る会としてもサービスを考えながら道路の手入れに心がける事に務めてまいりました。

歴史ある山城史跡をこの地で知ることが出来、昔を偲ばせ勇気と希望が与えられました。この事を後世に受け継がせることの大切さを知らされ人づくり地域づくりに役立つことと会員一同整備作業に努めて参りました。反面、結成以来共に目的に向かって保護管理と一緒に作業をし、汗を流した会員、今日姿を見る事の出来ない人、身体都合で登れない方も増え過ぎた年月が思い出される今日です。この様な思いを持ち整備されたこの雄大な天然の要害を持つ本丸に立って四方を眺めはるか昔の兵どもの生きぬいた姿を思いながら城跡が貴重な財産であることを会員はもとより多くの方々と肝に銘じ護って参りたいと思うものであります。